

大学院会計研究科 宮本勝浩教授が推定 「白毛馬ユキチャン」の経済波及効果は約94億円

このたび関西大学大学院会計研究科の宮本勝浩教授が、白毛馬ユキチャンの経済効果を推定しました。

これは、6月18日にユキチャンが川崎競馬場で行われたダート交流重賞G 関東オークスにおいて白毛馬で初めて重賞制覇したことを受け、売得金および入場者の消費効果、さらにはユキチャングッズやユキチャン自身の経済波及効果などの見地から経済効果を推定したものです。

宮本教授は報告書の中で、白毛馬ユキチャンが順調に勝ち進み、人気が盛り上がった場合、4歳の年(2009年)の12月までに94億1,586万円の経済波及効果があると推定しています。

分析結果については、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

- テーマ 「白毛馬ユキチャンの経済波及効果」
発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
発表日 2008年7月7日
内 容
1. はじめに
2. 売得金の経済効果
3. 入場者の消費経済効果
4. ユキチャングッズの経済効果
5. ユキチャンの経済波及効果
6. 結論

以上

なお、分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨を付記していただきますようよろしくお願いいたします。

【この件に関するお問合せ先】
関西大学 広報室広報課 / 鶴丸 北谷
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266
<http://www.kansai-u.ac.jp>

【プロフィール】

氏 名 宮本 勝浩

生年月日 昭和20年1月12日（63歳）

本 籍 和歌山県

現 職 関西大学 大学院会計研究科 教授

学 歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了
経済学博士（神戸大学）

職 歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、
平成18年4月より現職。

この間 アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同済大学、南京理工大
学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任

専門分野 国際経済学（移行経済論）、理論経済学、関西経済論

著 書 『大阪経済学』共著、経営書院、『移行経済の理論』中央経済社など

公 職

財務省財政制度等審議会臨時委員

大阪府水道部経営・事業評価委員会委員長

大阪府市町村合併推進審議会会長

堺市人事委員会委員長

公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長

財団法人堺都市政策研究所理事長

など

業 績

2003年 「阪神優勝の経済効果」を発表

2004年 「球界再編の経済効果」、「プロ野球のストのマイナス経済効果」、「東北楽天の宮城県
における経済効果」などを発表

2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セバ交流戦の経済効果」などを発表

2006年 「清原、中村選手のオリックス入団の経済効果」、「2008年大阪サミット誘致の経済効
果」、「ディープインパクトの経済効果」などを発表

2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経
済効果」を発表

2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」を発表
「くいだおれ人形の経済波及効果」を発表